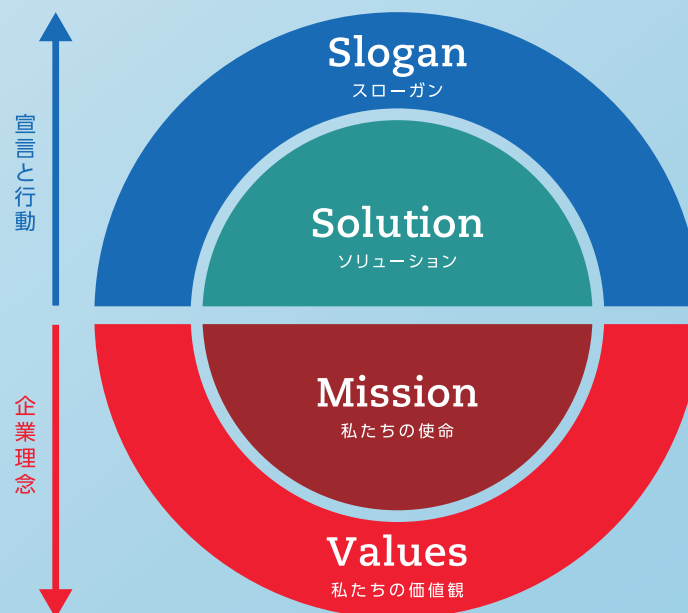
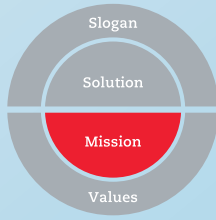


# すべての情熱と 行動と結束力を グループ理念のもとに。

私たちがこれまで培ってきた強みや独自性を大切にしながら、  
グループがさらなる成長を遂げるため新たにグループ理念をまとめました。

## 東燃ゼネラルグループ理念体系





世の中のために果たすべき役割

# Mission

私たちの使命

## 社会への使命

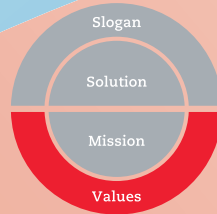
人々の暮らしを支えるエネルギーの安定供給と優れた製品・サービスの提供を通じて、活力ある社会の発展に貢献します。

## 環境への使命

限りある資源を有効活用し、持続可能な地球環境の維持に努めます。

## ステークホルダーへの使命

お客さま、従業員、株主、ビジネスパートナー、地域社会の方々に選ばれる価値、喜ばれる価値を創造します。



グループ全員が大切にする共通の価値観

# Values

私たちの価値観

ビジネスの様々な場面において下すべき判断や行動の基準や指針となるもの

## 安全・健康・環境

私たちは、安全・健康・環境(SHE)を最も大切な価値観として企業活動を行います。環境負荷を抑えながら安全操業で製品を製造し、安定的に供給することで、私たちの製品をいつも安心してご使用いただけるよう考え行動します。

## 正直・誠実・公正

私たちは、「正直・誠実・公正であること」を企業風土の中核とし、それを土台としたコンプライアンスの精神をいかなる時も優先して企業活動を行います。法令のみならず、社会的規範や企業倫理においても高い意識を持ち行動します。

## お客さま本位

私たちは、お客さまにとって価値あるソリューションを生み出すために必要不可欠なものとして、お客さま第一の姿勢を大切に企業活動を行います。お客さまのニーズや利便性を真剣に考え、選ばれる価値、喜ばれる価値を創造することに努めます。

## 挑戦

私たちは、変わりゆく時代のニーズを捉え、変化を恐れず進化を止めない挑戦の精神を持続けます。その結果、新たな可能性を切り拓き、価値あるソリューションの提供で世界をリードします。

## 行動力

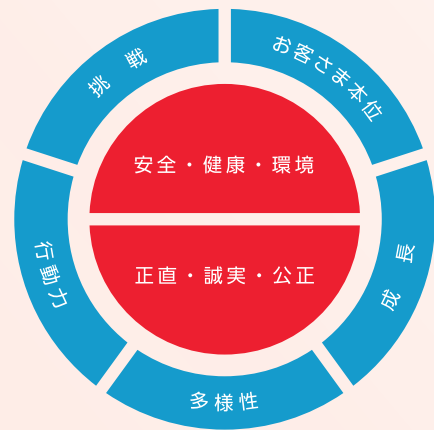
私たちは、真の目的をしっかりと見据え、最も合理的かつ効率的な解決法を考え、迅速かつ確実に行動します。一人ひとりがコミットメントを成し遂げていくことで、信頼される企業グループになります。

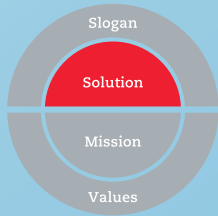
## 多様性

私たちは、個々人の属性や個性の違いを尊重し受け容れます。変化し続ける社会や環境に対して、多様性に基づく豊かな創造力や発想力を最大限発揮し、最も効果的に成果を創出できる良い組織、強い組織になることを目指します。

## 成長

私たちは、それぞれが持つ能力を存分に発揮し、自己実現の達成に向けて挑戦できる職場環境の向上に取り組みます。自己実現とグループミッション達成のため、従業員と企業グループが共に力強く成長していくことを目指します。





くらしや社会のために提供できる価値

# Solution

ソリューション

## ENERGY SOLUTION くらしを支える

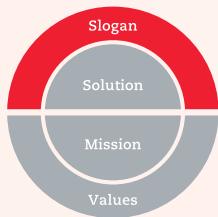
エネルギーの製造から供給、エネルギーミックスを通じた  
利便性・経済性追求により、くらしのさらなる安心と快適を支え続けます。

## PRODUCT SOLUTION 新たな付加価値を生む

時代や産業の要請に応える、製品やサービス、技術の可能性追求により、  
これからの社会にとって必要なプラスαの価値を創出します。

## PROCESS SOLUTION 物事を最適化する

物事やプロセスにおける効率性・合理性追求により、未来に向けた、  
よりスマートなライフ&ビジネススタイルを提案し、リードします。



東燃ゼネラルグループの決意と約束を言葉に

# Slogan

スローガン

スローガンとは、企業がこれまで歩んできた道のりと、  
未来に向けての可能性を社内外に向けて力強く発信するものです。

「考えぬく。あした明日を動かす。」

このスローガンの中に、私たち東燃ゼネラルグループの  
理念が凝縮されています。

あした  
考えぬく。明日を動かす。

# 経済活動の要となるエネルギーを供給 24時間365日、人々の暮らしを支えています

東燃ゼネラルグループは、世界各国から最適な原材料・半製品を輸入し、国内の生産拠点で各種石油・石油化学製品を効率的に生産し、販売しています。また、製品の一部は海外へ輸出しています。輸入、精製・生産、物流そして販売・輸出に至るまでの一貫した操業体制により、グループとしての総合力を発揮しています。人々の暮らしを支えるエネルギーの安定供給と優れた製品・サービスの提供を通じて、活力ある社会の発展に貢献します。

## サプライチェーン

### 原材料調達・ 輸送

原油輸入量の8割以上を中東産油国に依存する日本において、当グループで使用する原材料を、中東のみならずロシア、西アフリカ、北中南米など幅広い地域から調達している点が当グループの特色です。供給元を多様化することで、市場環境や精製設備の状況に応じた経済的な原油を、柔軟かつ安定的に調達することができます。



最適な原材料選択を可能にする供給元の多様化



30万トンクラスのVLCC (超大型タンカー)

### 〈原油調達のBCP〉

産油国の政情不安等による輸入停止のリスクに備えて、事業継続計画 (BCP) を策定し、社会活動に与える影響が最低限になるよう努めています。

### 備蓄

不測の事態により突然石油が輸入できなくなる場合に備えて、製油所、油槽所等にて70日分の原油および石油製品を常時在庫として持つ (民間備蓄) とともに、国家備蓄基地の運営に協力しています。大規模災害の発生等有事の際には、これらの備蓄を放出することで、機動的に近隣地域に石油製品を供給できる体制を構築しています。

国家備蓄 117日分      民間備蓄 80日分  
(全国、2015年末時点)



青森県むつ小川原の備蓄タンク群

## 物流

## 精製・生産

24時間体制で稼働する製油所・石油化学工場では、安全を操業の大前提としつつ、高度な生産システムと厳しい品質管理により、LPガス、ガソリン、ナフサ、ジェット燃料、灯油、軽油、潤滑油などの各種石油製品および石油化学製品を効率的に生産しています。

川崎工場、堺工場に国内向け陸上出荷を集約する一方、和歌山工場、千葉工場には充実した海外出荷設備を整え、製品出荷地の最適化を行っています。各種製品は、内航船、タンクローリー、鉄道、パイプライン等で直接または一旦全国各地の油槽所へ運ばれてからお客さまのもとに配送されます。これに加え、40カ所以上の他社出荷基地が相互利用や通油契約というかたちで全国への製品の中継基地として活用されています。



製油所数 全国4カ所  
精製能力 日量698,000バレル



社会活動を支えるため、昼夜問わずに燃料油を配送

### 〈コンビナート内連携〉

コンビナート近隣各社へは、パイプラインを敷設して製品・半製品・ユーティリティなどを相互に供給し、シナジー効果も追求します。



内航船



鉄道出荷

首都圏直下型地震を想定した耐震設備を持つ、川崎工場の陸上出荷設備 (2016年3月竣工)



## 販売・輸出


SS(サービスステーション)では、当グループ120余年の歴史で培ったノウハウを最大限に活用し、高品質な石油製品を適正な価格で安定的にお客さまに提供しています。

燃料油のほか、潤滑油、石油化学製品ともお客さまにご満足いただける最高水準のサービスと製品をお届けします。

「エッソ」「モービル」「ゼネラル」ブランドのSS  
全国3,423カ所(2016年3月末現在)

また、高い輸出能力を活用し、アジア太平洋地域および北南米大陸を中心に各種製品を輸出しています。

オーストラリアにおいては、コスト競争力のあるサプライチェーン確立を目指し、燃料輸入ターミナル建設を計画しています(2018年完成予定)。

 自社の効率的な発電事業と外部調達との最適な組み合わせによる、長期安定的な電力を供給。現在、静岡県および千葉県にて独自の発電所の建設計画を進めています。



人々が寝静まっているあいだも、SSはくらしを支える準備を整えています



地中送電線の絶縁材料



オーストラリア ターミナル建設予定地

### 東日本大震災発生時の当グループの対応

2011年3月に発生した東日本大震災に際して、震災発生直後よりグループ全体で定められた災害対応プランに則って迅速に行動しました。

#### ●製品供給体制の迅速な復旧

東北地方太平洋沿岸の石油供給設備すべてが一時的に操業不能となる中、当グループは宮城県塩釜油槽所復旧を迅速に行い、震災後わずか9日後には出荷を再開。同油槽所は石油他社にも利用され、東北地方への燃料供給拠点として重要な役割を果たしました。

#### ●ドラム缶による燃料油の緊急出荷

経済産業省の要請を受け、3月19日から26日にかけて、和歌山工場、千葉工場よりドラム缶でガソリン、軽油、灯油を出荷。陸送先の航空自衛隊入間基地および陸上自衛隊多賀城駐屯地から空輸され、燃料不足が深刻な被災地の避難所などに供給されました。

#### ●仮設給油所の設置

震災後1カ月あまり、操業可能な給油所がなかった岩手県陸前高田市において、経済産業省や消防庁の支援のもと、特殊化学製品搬送用仮設コンテナを使用し、前例のない方法で仮設給油所を設置。4月22日に陸前高田市に無償譲渡され、地域住民への燃料供給拠点としての役割を果たしました。

2016年4月に発生した熊本地震では、東日本大震災時の経験に基づき、業界各社とともに、被災地への供給活動への取り組みを速やかに実施しました。

# 安全を操業の大前提とする高効率生産体制

世界各地から最適な原材料および半製品を輸入し、国内4製油所をはじめとする生産拠点で競争力のある石油・石油化学製品を製造。これが生産部門の基本的役割です。

安全を操業の大前提としつつ、より高い付加価値を追求し、さまざまな原材料の調達、製品輸出にも努めています。

また、環境保全、とりわけ気候変動問題への対策にも取り組んでいます。



グループ最大の  
石油精製・石油化学一体工場

## 川崎工場

首都圏を背後にひかえた京浜臨海工業地帯に立地し、陸上ならびに海上輸送の便に恵まれた川崎工場は、東燃ゼネラル石油の石油精製プラントと東燃化学の主力工場である石油化学プラントが有機的に結合し、一体運営することで、石油製品、石油化学製品の効率的な生産を行っています。

石油精製工場としては、日本最大のFCC(流動接触分解装置)、日本唯一のH-Oil(重質油脱硫分解装置)を有する我が国最大級の製油所です。東燃化学の主力工場でもあり、生産されたエチレンなどの石油化学製品を近隣のコンビナート各社にパイプラインを通じて供給しているほか、輸出にも力を入れています。



京葉臨海工業地帯のほぼ中央に位置し  
さらなる地域連携を目指す製油所

## 千葉工場

「国際競争力を持った国内トップクラスの製油所」となることを目指す千葉工場は、日本最大の石油消費地である関東を後背地に持つ京葉臨海コンビナートのほぼ中央に位置し、関東エリアにおける製品の安定供給の一翼を担っています。当グループ唯一のRFCC(残油流動接触分解装置)やMPHC(中圧水素化分解装置)、最新鋭のミックスキシレン回収装置を有し、近隣石油・石油化学他社とのコンビナート内連携を通じた効率的な運転を行っています。また、グループの重要な輸出拠点の一つでもあります。



エネルギー効率に優れた  
関西の一大生産出荷拠点

## 堺工場

堺工場は、西日本の大消費地である大阪に展開する堺泉北臨海工業地帯に位置しています。石油精製に加えて、パラキシレンやプロピレンなどを生産する石油化学との一体型工場で、エネルギー効率は日本のトップクラスにあります。

また、コンビナート近隣地域へはパイプラインを敷設して製品・半製品・ユーティリティなどを相互に供給し、シナジー効果も追求しています。関西最大規模の陸上出荷ターミナルでは、我が国ではじめてボトム・ローディング(安全・確実な地上底積)方式も採用し、環境保全と徹底した安全性の向上、および積み込み作業の迅速化を実現しています。



潤滑油製品の  
製造・出荷拠点

## 鶴見潤滑油工場

大消費地である首都圏への配送に有利な京浜臨海工業地帯の中核、横浜市北東部に位置する鶴見潤滑油工場は、自動車や各種機械用の潤滑油製品に特化し、製造から配送までを一貫して行っています。合成エンジンオイルであるMobil 1™(モービル1)は当工場の主要な出荷製品です。なお、2015年11月からは、コスモ石油ルブリカンツの製品の製造を受託、出荷をしています。

### 製造技術本部

エンジニアリング業務を遂行する製造技術本部は、プロセス、装置、システム、プロジェクトの各関連技術分野のスペシャリスト集団として、技術提携先であるエクソンモービルはもとより、国内外の最新技術情報を駆使して、新規設備のプロジェクト業務と既存設備を安全に、高い性能・効率で運転するための取り組みを日々行っています。



### 中央研究所

中央研究所では、エネルギー動向の詳細な分析・評価と、それを踏まえた戦略的な研究開発活動を進めています。燃料油関連では、需給構造が変化する環境において、製品品質を適切に設定することに資する研究や、工場の収益向上につながる技術検討を実施しています。潤滑油製品の研究開発は研究所創立以来70年以上の歴史を持ち、次世代潤滑油につながる基盤技術の研究と、それを基にした自動車会社向け潤滑油製品の製品開発に注力しており、燃費や信頼性・快適性を向上させる潤滑油製品を開発し続けています。石油化学品関連では、特殊化成分野における基盤技術や新製品・用途にかかわる研究開発を再開するとともに、より迅速にユーザーの要望を製品に反映させる取り組みに注力しています。また、当グループが持つ知的財産の有効活用と管理・保護や、CSR活動の一環として、エネルギーに関する社外への啓発活動も進めています。



内外のニーズにフレキシブルに  
対応できる一貫生産拠点

## 和歌山工場

紀伊水道に面した和歌山工場は、「有田みかん」の産地と豊かな漁場に囲まれ、閑静な住宅地に隣接しています。そのため、環境保全に細心の注意を払いながら、世界でも高水準の安全性を維持し、操業を行っています。長い歴史を刻む同工場は、ガソリンなどの一般燃料や各種潤滑油、芳香族系化学製品に加えて、各種航空燃料や自動車テスト用燃料などの特殊製品を含む複合的な石油製品の一貫生産拠点です。また、多くのタンクと天然の良港に位置する海上出荷設備を駆使して、輸出にも柔軟に対応しつつ国内のエネルギー供給に貢献しています。



お客様のニーズに応える  
高機能ポリエチレン生産拠点

## NUC川崎工業所

NUC川崎工業所は、川崎工場に隣接し、東燃化学より供給されるエチレンからポリエチレンを製造しています。研究開発にも力を入れ、電線被覆用をはじめとする高付加価値製品の生産・販売拠点となっています。



# 世界最高水準の製品とサービスを提供

燃料油販売、潤滑油・スペシャルティ、石油化学製品部門では、120余年の歴史で培ったノウハウを最大限活用し、お客さまに満足していただける世界最高水準の製品とサービスをお届けしています。

また、グループ保有の発電設備で20年以上にわたって外部に電力を販売してきた実績のもと、

2016年4月から全面自由化された電力低圧市場における電力小売販売を開始しました。

「Energy Solution 暮らしを支える、Product Solution 新たな付加価値を生む、Process Solution 物事を最適化する」の3つのソリューションを、くらしや社会のために提供しています。

## 燃料油販売

## サービスステーション



当グループは、「エッソ」「モービル」「ゼネラル」の3ブランド共通の販売施策を全国展開し、高品質な石油製品を適正な価格で安定的にお客さまに提供しています。また、業界に先駆けてセルフSSを拡大。さまざまな工夫が施された「エクスプレス」ブランドSSの展開によって、利便性の向上を図り、2015年末にはセブン-イレブン複合店が120店舗にまで増加しました。私たちは、常に変化し続けるお客さまのニーズに的確に対応しながら、環境・安全に配慮したSSの運営を進めています。

## セルフSS「エクスプレス」

当グループが展開するセルフSS「エクスプレス(Express)」のコンセプトは、「最もすばやく、最も簡単な操作で、最もきれいで快適な設備で、給油サービスを提供すること」。このブランド・バリューをさらに進化させるために、販売促進プログラムの強化や、接客サービスの向上、清潔なSSづくりの徹底など、ハード・ソフト両面におけるサービスの充実を図っています。

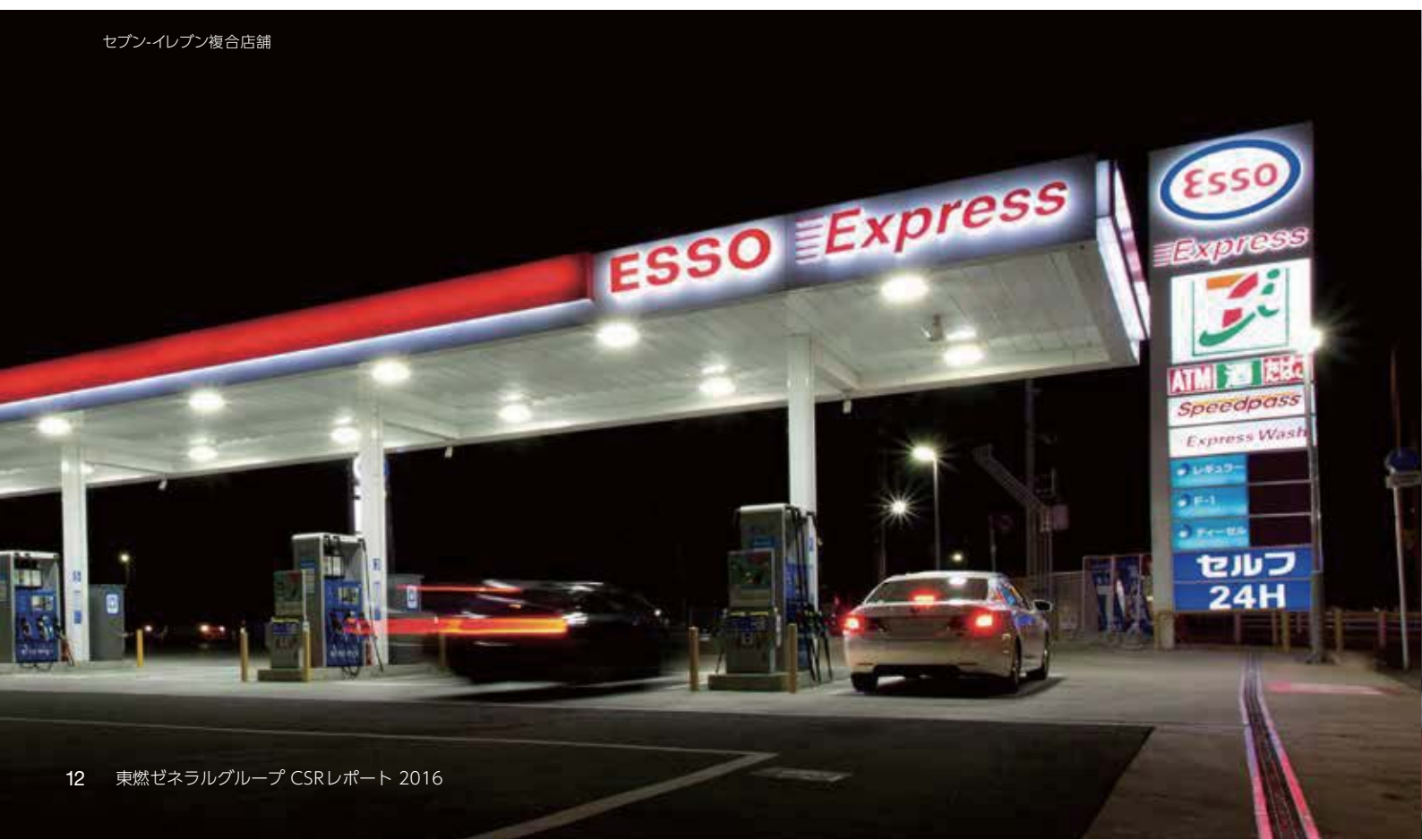
## 産業用燃料

産業用燃料の販売では、安定供給と競争力のある価格に加えて、代理店・特約店の皆さまとの信頼に基づく強固なパートナーシップのもと、それぞれの販売戦略に合わせた独自の付加価値を創造しています。

## 航空・船用燃料

国内外で使用される航空・船用燃料は、その製品性格上、世界基準に合致した高い品質が求められます。それらの基準に見合った高い品質の製品を、国内外の航空会社・海運会社・官公庁・商社向けに販売しています。

セブン-イレブン複合店舗



## 潤滑油・スペシャルティ

### 自動車用潤滑油

Mobil™ブランドの自動車用潤滑油は、あらゆる場面で効果的にエンジンを保護し、車のベストパフォーマンスを引き出します。特に、合成油のMobil 1™ (モービル1)は、世界トップレベルの性能を誇ります。お客様のニーズに的確に応えるべく、国内大手自動車メーカーとの次世代製品の共同開発や純正オイルの供給も行っています。

### 航空用・船用潤滑油

航空用潤滑油は、幅広い製品を取りそろえ、さまざまな技術サポートを通じお客様から絶大な支持・信頼を得ています。船用潤滑油は、船舶のトータルコスト削減に寄与する合成油をはじめとする高品質な製品とサービスでお客様のニーズにお応えしています。また外航船のお客様については、エクソンモービルとの提携関係を結んでいます。

**Mobil SHC™**



### 工業用潤滑油

Mobil™ブランドの工業用潤滑油は、潤滑油技術の先駆者としての幅広い専門知識と経験に裏付けられ、お客様の設備の生産性向上、省エネルギーに大きく貢献し、国内外の主要機械メーカーから推奨されています。先進技術を駆使した合成潤滑油 Mobil SHC™は、エネルギー効率の向上や持続性さらに安全面における優位性など、バランスのとれた総合性能を提供します。

### ベースオイル・スペシャルティ

高度な品質管理のもと精製部門で製造されたワックスを、東燃ゼネラルブランド名で高付加価値スペシャルティ製品として国内販売はもとより海外へも輸出しています。また、エクソンモービルとの戦略的提携関係により、ベースオイルをアジア中心に輸出しています。

**Mobil 1™**



## 石油化学製品

## 基礎化学品

航空機・自動車部品、電子電器部品から食品包装材・家庭生活用品まで多種多様な用途の化学製品基礎原料となるオレフィン類(エチレン、プロピレン、ブタジエンなど)とポリエステル繊維、ペットボトル、ナイロン繊維などの原料となる芳香族類(パラキシレン、オルソキシレン、ベンゼンなど)等、石油精製との一体運営を通じて競争力のある製品を製造しています。国内のみならず、海外のお客さまにも販売しています。

## 石油樹脂

未水添および水添石油樹脂を製造販売しています。耐熱性、耐寒性、接着性、透明性、ガスバリア性など、お客さまのニーズに合わせた優れた機能性を発揮します。工業用接着剤、高機能テープ、環境タイヤ、紙おむつなどのホットメルト、食品用フィルム改質剤など、幅広い用途に使用されています。

T-REZ

## ポリエチレン樹脂

(株)NUCでは、ポリエチレン専門メーカーとして、電線被覆分野で他社の追随を許さない優良グレード製品を市場に提供し、内外の電線メーカーなどのお客さまから確かな信頼を得ています。機能材料事業では、プラスチック包装・容器などに使用されるLDPE、L-LDPE、EVA、EEA製品を開発、販売しています。



## 溶剤

高い溶解力と機能性を兼ね備えたメチルエチルケトン、塗料・印刷インキ用溶剤から電子部品樹脂加工、光学パネル用フィルム成型、ケミカルプロセス溶媒などさまざまな用途で広く活用されています。石油精製設備を利用して製造される炭化水素溶剤は、自動車用塗料、農薬、金属加工油などに配合されています。便利で豊かな生活を陰から支えています。

T-SOL



水添石油樹脂



T-SOL、T-REZ、NUCは、東燃ゼネラル石油またはその関連会社の登録商標です。

## 電力

## 特別高圧／高圧

各工場では自家発電設備を持ち、このうち川崎工場では発電した電力を1994年より20年以上にわたって外部に販売してきました。それまでに培った豊富なエネルギー供給の経験を生かし、2015年10月より、工場、ビル、商業施設、事務所などで使用される特別高圧(電圧20,000ボルト以上)・高圧(電圧6,000ボルト以上)の電力を、法人のお客さま向けに供給しています。

## 低圧

2016年4月に全面自由化された電力低圧市場において、一般家庭向け、小規模の法人向けの電力サービスを開始しました。シンプルで分かりやすく、お客さまにとって使い勝手のよい料金体系でサービスを提供します。自社ブランド「myでんき」による提供と、各販売代理店の独自ブランドでの提供の併用による、販売チャネルの多様化を通じて販売の拡大を目指します。



## 電源開発に向けた取り組み

電力を経済的に、長期的かつ安定的に供給するため、独自の発電所の建設計画を進めています。清水天然ガス発電所(静岡県静岡市)および市原火力発電所(千葉県市原市)の建設に向け、法令に基づき、環境アセスメントを実施しています。電源の開発にあたっては、最新の技術を採用するなど、環境負荷の低減に努めていきます。

2016年9月現在、高圧は東北・関東・中部・関西で、低圧は関東・中部・関西で電力を供給しています。



## ENERGY SOLUTION

くらしを支える



燃料油販売



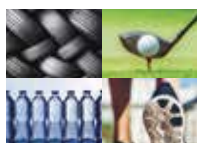
電力の供給



信頼のブランド

## PRODUCT SOLUTION

新たな付加価値を生む



ケミカル製品



ケミカル製品



高付加価値潤滑油

## PROCESS SOLUTION

物事を最適化する



スピードパス+



スピードパス+

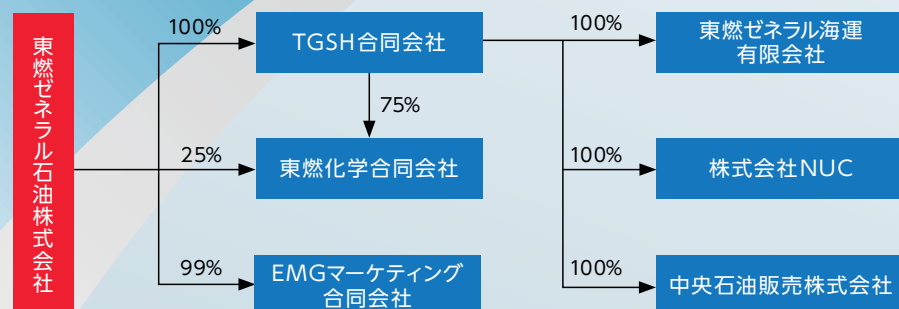


ワンストップショッピング

# 東燃ゼネラルグループの ソリューションで 新しい未来へ

エネルギーの供給、製品・サービスからなる  
独自のソリューションを通じ地球環境に配慮しながら  
未来をもっと豊かで喜びのあるものへと変えていきます。

## ● グループ主要企業の資本関係図



## 東燃ゼネラル石油株式会社

事業内容	原油・石油製品の輸送、石油製品の製造・加工および販売ならびに石油化学製品の製造・加工および販売
本社	東京都港区港南1-8-15
設立	1947年7月26日
資本金	351億円 上場証券取引所 東京証券取引所(証券コード:5012)
株主	金融機関、ファンド、個人等
株主総数	39,862名(2015年12月31日現在)
従業員数	1,947名(2015年12月31日現在・就業人員)
決算期	12月

## EMGマーケティング合同会社

事業内容	各種石油・石油化学製品および関連製品の販売、管理統括部門の業務
本社	東京都港区港南1-8-15
設立	1961年12月11日
資本金	200億円
社員	東燃ゼネラル石油株式会社、エクソンモービル
従業員数	592名(2015年12月31日現在・就業人員)
決算期	12月

## 東燃化学合同会社

事業内容	石油化学製品の製造・加工および販売
本社	東京都港区港南1-8-15
設立	1960年12月24日
資本金	10億円
社員	TGSH合同会社、東燃ゼネラル石油株式会社
従業員数	283名(2015年12月31日現在・就業人員)
決算期	12月

## 株式会社NUC

事業内容	高圧法低密度ポリエチレン・直鎖状低密度ポリエチレンの製造および販売
本社	東京都港区港南1-8-15
設立	1961年1月11日
資本金	20億円
株主	TGSH合同会社
従業員数	239名(2015年12月31日現在・就業人員)
決算期	12月

## シンガポール支店

5 Temasek Boulevard,  
#15-01 Suntec Tower Five, Singapore 038985

## アブダビ事務所

Level 4, Building B, Al Mamoura, Abu Dhabi, U.A.E.  
P.O. Box : 38078

## ドーハ事務所

Level 21, Burj Doha, West Bay, Doha, Qatar  
P.O.Box: 27110

## TonenGeneral Americas L.L.C.(ヒューストン)

2800 Post Oak Blvd, Suite 4100 (Office 06)  
Houston, TX 77056, U.S.A.

## 株式会社NUC 上海代表処

上海市淮海中路918号 久事復興ビル18F G座

## 主な業績の推移

(億円)

主要データ	セグメント	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年
生産実績	石油事業*1 (千kl)	26,871	27,534	27,118	31,704	33,518
	石油化学事業*2 (千トン)	2,529	2,769	2,856	2,670	2,811
販売実績	石油事業*1	24,252	25,338	28,968	31,042	23,555
	石油化学事業*2	2,519	2,711	3,443	3,469	2,724

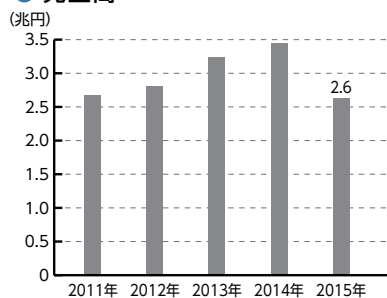
売上高	26,771	28,049	32,412	34,511	26,279
営業利益	2,162	273	523	△729	20
当期純利益	1,328	548	229	△140	1

### (営業利益の内訳)

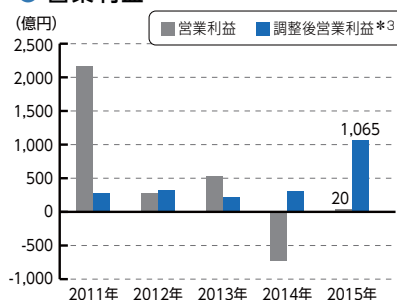
在庫評価損益等	1,891	44	470	△865	△871
のれん償却	—	△85	△169	△173	△175
調整後営業利益*3	<b>271</b>	<b>314</b>	<b>222</b>	<b>309</b>	<b>1,065</b>
石油事業*1	<b>241</b>	<b>315</b>	<b>17</b>	<b>177</b>	<b>798</b>
石油化学事業*2	<b>30</b>	<b>△1</b>	<b>206</b>	<b>132</b>	<b>267</b>

## 主な経営指標の推移

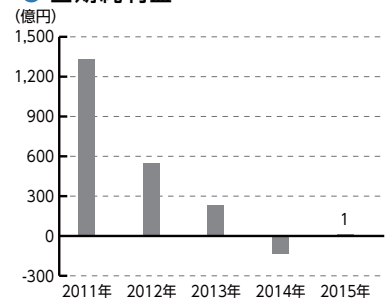
### ● 売上高



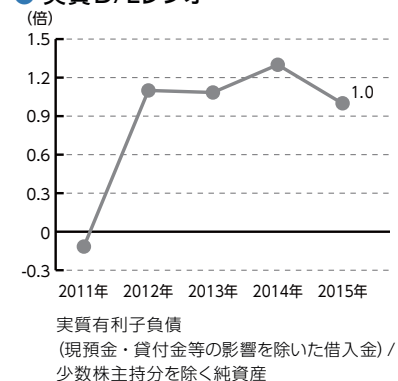
### ● 営業利益



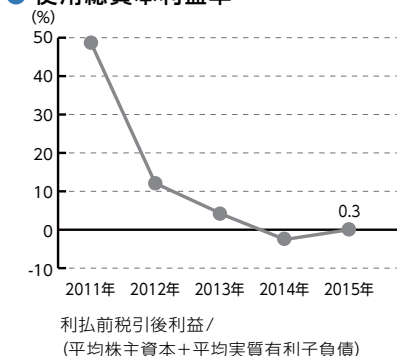
### ● 当期純利益



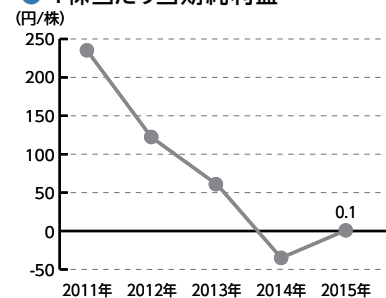
### ● 実質D/Eレシオ



### ● 使用総資本利益率



### ● 1株当たり当期純利益



\*1 ガソリン、ナフサ、ジェット燃料、灯油、軽油、重油、潤滑油、液化石油ガス等

\*2 オレフィン類、芳香族類、石油系溶剤、石油樹脂、ポリエチレン樹脂等

\*3 在庫評価損益およびのれんの償却を含まない、実質的な営業利益